LIXIL TOEX

門扉仮固定機能付ストッパーA　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

⚠警 告

●門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●指定寸法は必ず守ってください。
●前もって設置場所の確認を行ってください。給湯器、暖房機などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。
●門扉仮固定機能付ストッパーA施工の基礎部の穴の深さ方向および周囲のかぶり厚は80mm以上にしてください。かぶり厚が不足すると基礎部に亀裂や割れが発生するおそれがあります。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●門扉仮固定機能付ストッパーAは、門扉の下開き50mm用です。

＜施工上のご注意＞

⚠注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
●外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
●施工終了後は開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

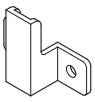
＜施工上のご注意＞つづき

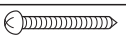
⚠ 注 意

●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

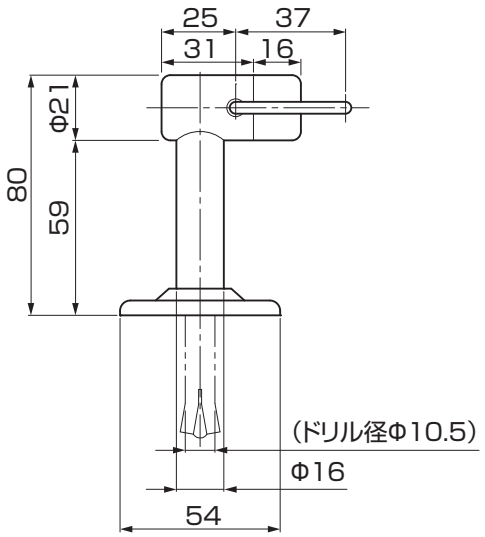
■梱包明細表

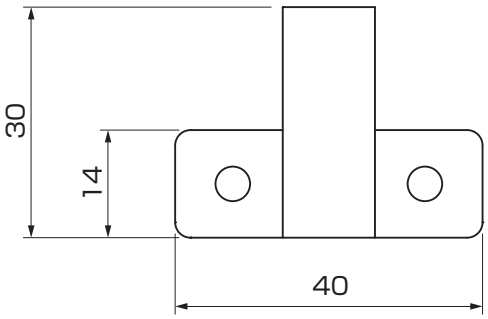
【1】ドアストッパーセット

名　称	略　図	員 数
門扉仮固定機能付ストッパーA		1
門扉仮固定機能付ストッパーA受け		1

名　称	略　図	員 数
【1-1】Φ4×10トラスタッピンネジ3種		2
【1-2】Φ4×35トラスタッピンネジ1種		1
【1-3】ホールインアンカーM10×70		1
【1-4】MG−6×30Pオールプラグ		1
【1-5】M4スプリングワッシャー		2
取付説明書〈A537〉	―	1
取扱説明書〈UA197〉	―	1

1. 基本寸法





2. 門扉仮固定機能付ストッパーAの取付位置決め

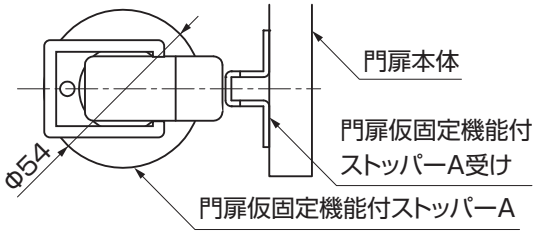


図2-1

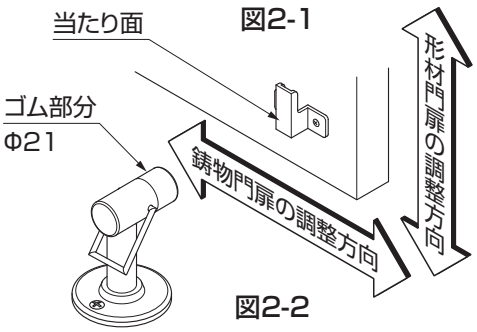


図2-2

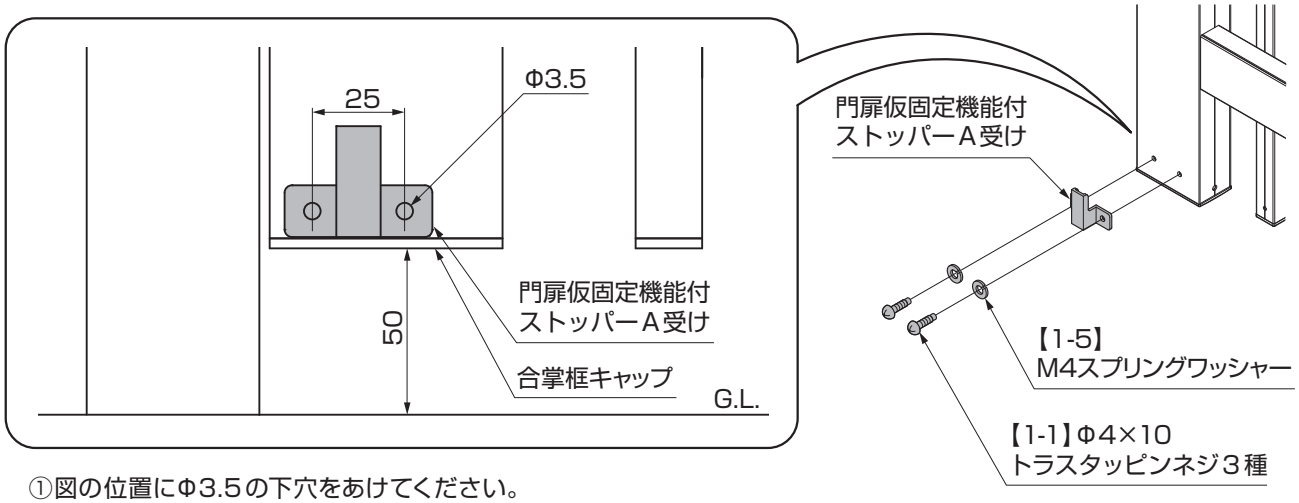
①門扉を開閉して、門扉仮固定機能付ストッパーAのゴム部分が門扉仮固定機能付ストッパーA受けの当たり面に半分以上当たるように取付位置を決めてください。

ポイント

●門扉仮固定機能付ストッパーAと門扉仮固定機能付ストッパーA受けがセンター同士で当たるように位置を決めてください。(図2-1参照)
●接地面の水勾配により、門扉仮固定機能付ストッパーAのゴム部分が門扉仮固定機能付ストッパーA受けの当たり面に半分以上当たらない時は、門扉仮固定機能付ストッパーA受けの取付位置を調整してください。(図2-2参照)
●門扉仮固定機能付ストッパーA受けを形材門扉に取付ける際は、取付ける箇所の内部に、落とし棒などの金属部品がある場合は取付けできません。框内部の構造を確認して、取付け位置を決めてください。

3. 門扉仮固定機能付ストッパーA受けの取付け

3-1 形材門扉の場合 ※図はアーキカットAタイプです。



①図の位置にΦ3.5の下穴をあけてください。

ポイント

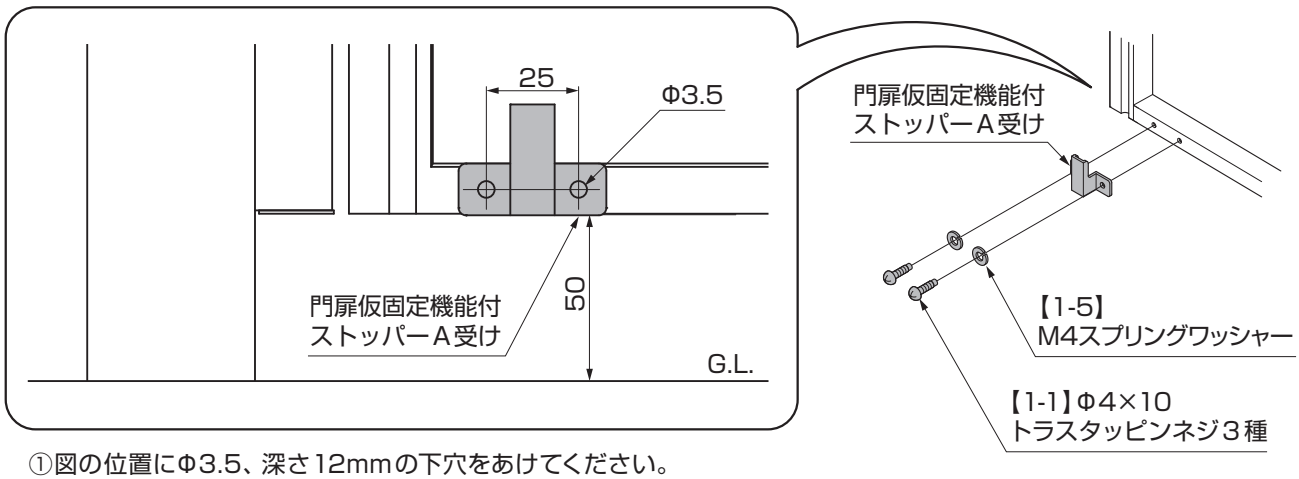
●門扉を取付ける前、もしくは一度門柱から取外してから、取付けると取付けやすいです。
●形材門扉に、門扉仮固定機能付ストッパーA受けを取付ける際は、電動ドライバーを使用しないでください。

注 意

●門扉仮固定機能付ストッパーA受けを形材門扉に取付ける際は、合掌框キャップより下に飛び出さないようにしてください。飛び出した面にふれるとケガをするおそれがあります。

②門扉仮固定機能付ストッパーA受けを形材門扉に、【1-1】【1-5】で取付けてください。

3-2 鋳物門扉の場合 ※図はアーキキャスト門扉です。



①図の位置にΦ3.5、深さ12mmの下穴をあけてください。

ポイント

●門扉を取付ける前、もしくは一度門柱から取外してから、取付けると取付けやすいです。

注 意

●門扉仮固定機能付ストッパーA受けを鋳物門扉に取付ける際は、門扉端部より飛び出さないようにしてください。飛び出した面にふれるとケガをするおそれがあります。

②門扉仮固定機能付ストッパーA受けを鋳物門扉に、【1-1】【1-5】で取付けてください。

4. 門扉仮固定機能付ストッパーAの取付け

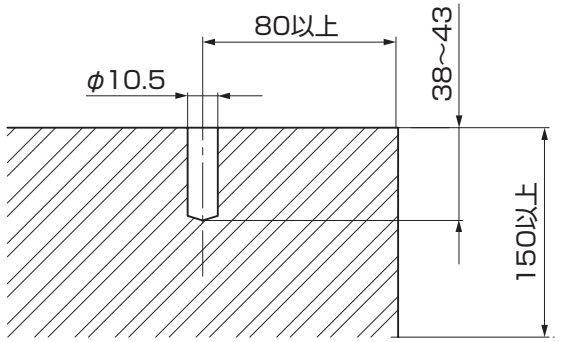
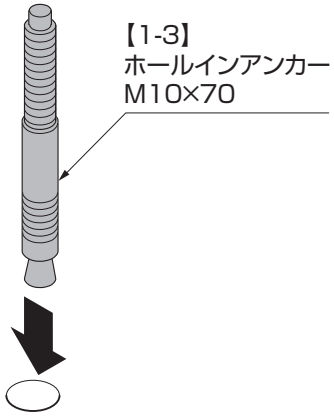


図4-1



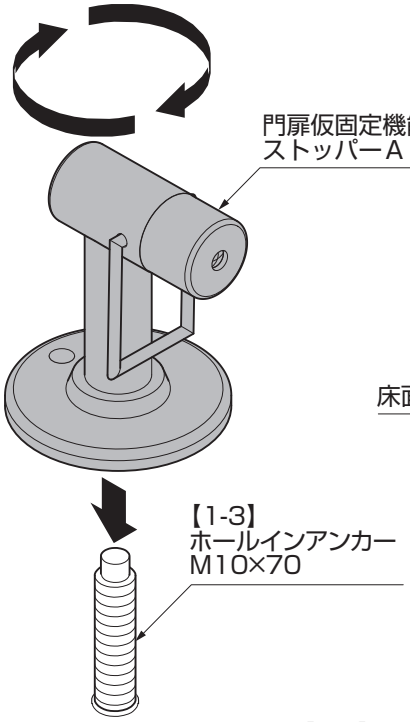
①基礎部に必要な深さの穴をあけてください。(図1-1 参照)

補 足

●吸じん機または、ダストポンプを使用すると、切粉を容易に取除くことができます。

②穴内の切粉を取除いてください。

③【1-3】をハンマーで打ち込んでください。



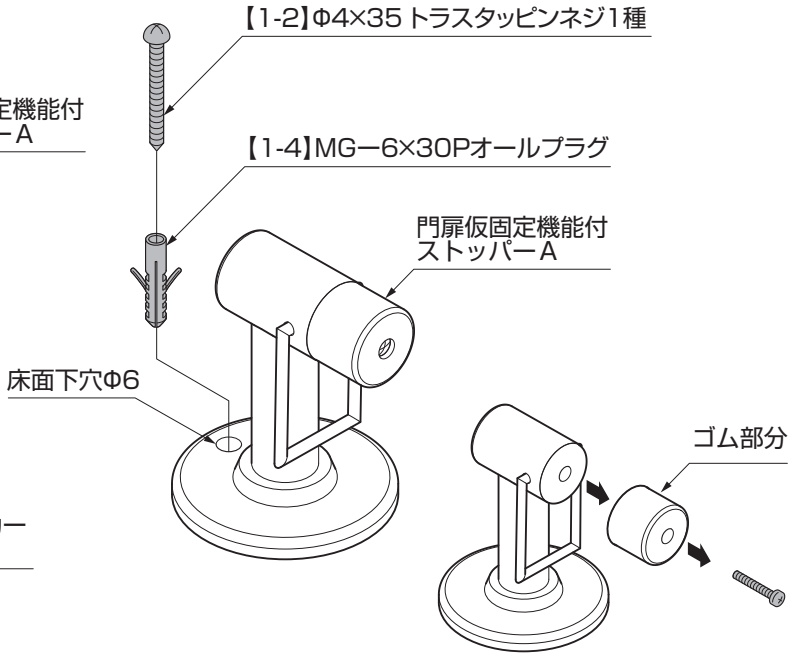


図4-2　ゴム部分の交換

④門扉仮固定機能付ストッパーAを【1-3】に、取付けてください。

⑤門扉仮固定機能付ストッパーA受けが当たる方向に位置を合わせて、門扉仮固定機能付ストッパーAの穴加工位置の床面にΦ6深さ35mmの下穴をあけてください。

補 足

●吸じん機または、ダストポンプを使用すると、切粉を容易に取除くことができます。

●メンテナンス等でゴム部分を交換する際は、ゴム部分の取付けネジを外して交換してください。(図4-2参照)

⑥下穴内の切粉を取除いてください。

⑦下穴に【1-4】を押し込んでください。

⑧再度、門扉仮固定機能付ストッパーAを【1-3】に取付け、【1-2】で固定してください。

取説コード
A537

JZZ621192B
201102A_1041
201210C_1041